




補聴器の電池について



補聴器には、補聴器専用の空気電池を使います。
補聴器をお買い求めいただいたところで、電池を購入することをおすすめします。

1 お使いの補聴器に合う電池の種類を確認してください。

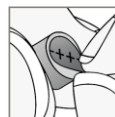
電池の大きさによって、シールの色が異なります。

シールの色	黄色	茶色	オレンジ	青
電池の種類	10A (PR536) 	312 (PR41) 	13 (PR48) 	675 (PR44) 



2 新しい電池を使うには？

お使いになる直前まで、シールをはがさないでください。
シールをはがした時点から、電池の消耗が始まります。
シールをはがして30秒～1分後にご使用ください。



3 電池がなくなったら？



電池がなくなる前に、補聴器からお知らせ音が鳴ります。
お知らせ音が鳴ったら、できるだけ早く新しい電池に交換してください。

いつ、どこで電池がなくなるか分かりません。
電池チェッカーに新しい電池を入れて携帯すると便利です。

ここに電池を入れておくことができます。

4 電池の保管は？



通常の温度と湿度で、日陰に保存してください。
とくに高温や高湿度の場所は避けてください。液漏れの恐れがあります。

補聴器を乾燥ケースに入れる際は、必ず電池を外してください。
乾燥ケースのふた上面が磁石になっていますので、
電池の平らな方(+プラス)を下にして置いてください。
(左右どちらの補聴器に入れていた電池か、区別できるようになっています)

5 冬場は電池寿命が短くなります

ストーブやヒーターなどから発生するCO₂(二酸化炭素)や乾燥の影響で、電池寿命が短くなります。
電池工業会によれば、この要因が重なる冬場では、54～65%まで電池寿命が短くなる場合がありますので、
定期的にお部屋の換気を行ってください。

また、電池が冷えていると性能を十分に発揮できません。体温で温めてからご使用ください。

6 電池が濡れてしまったら、丁寧に拭いてください

暑い季節には、汗などが補聴器の中に入り、電池が濡れることがあります。
そのままにしておくと補聴器の故障につながりますので、濡れてしまったら電池を交換して下さい。

7 電池を捨てる時は

使用済みの電池は、補聴器販売店などの回収協力店に設置されたボタン電池回収缶に入れてください。
安全のため、電池を1個ずつ図のようにセロハンテープでつつみ、絶縁してください。



※電池の(+)+プラスと(-)-マイナスを逆に入れたり、時計やゲーム機用などの電池を使うなど誤った使い方は、
補聴器の故障につながるのをお避けください。

※補聴器をご購入される時には、電池の使い方も教わっておきましょう。